

平成16年度

大和の教育プラン

豊かな心



公園の植樹



わが町クリーン大作戦

夏休み子どもまなびや



確かな学び



総合的な学習の時間での課題追究



子ども科学教室

芝生の上での始業式



地域の人々

行政にかかわる人々

家庭の人々

学校にかかわる人々

地域とともに子どもたちを育てる教育を進めます

地域の人々、学校教育にかかわる人々、行政にかかわる人々、家庭の人々が確かに温かなパートナーシップをもって、子ども一人ひとりの学びを広げ、深めるための支援を行い、それぞれが共生・共育できる教育をめざします。

このパンフレットは、本市におけるこれからの学校教育と学校・家庭・地域の協力・連携について保護者、市民に紹介するために作成したものです。

大和市教育委員会

地域の人々と子どもたちは互いに学びのパートナー！

大人はもとより、子どもも「まちづくり」を担う大切な存在です。子どもたちにとって地域は大切な学習の場になっています。豊かな心と確かな学力を身につけられるように、学校・家庭・地域が連携・協働して学びの場を広げ、教育の質の向上を図ります。子どもたちにとって、いろいろな人々と共に生きていることが実感できる学習環境づくりをいっそう推進していきます。

豊かな人間性や社会性を育み、たくましく 生きる児童生徒の育成を図ります

「やまとみどりの学校プログラム」がスタートしました。
やまとは、大和市のこと。みどりの学校は環境を守り大切にするための学習や活動をする学校のこと。やまとみどりの学校プログラムは、大和市に住む小中学生が環境をテーマに行う学習や活動を応援する仕組みという意味です。

次世代を担う児童生徒の環境への関心、意欲、自発性を高め、実践力を育成するための取り組みであり大和市の環境を保全・創造し、未来に引き継いでいくことを願っています。



創意工夫を生かした特色ある 学校づくりを推進します

お年寄りや障害のある人たちの目線で、住みよい町づくり調査を行い、福祉やボランティア活動について考える取り組みなど様々な特色ある教育活動が行われています。

中学生は地域の商店や工場、福祉施設などで職場体験を行い、進路について考えたり、地域との交流を深めたりしています。



New 学校への派遣事業

1. スクールアシスタント

2. ACU (小学校英語指導員)
3. AET (中学校英語指導助手)
4. 障害児教育支援ヘルパー
5. コンピュータ利用推進補助員

学校に委託する特色ある研究

1. ふれあい教育実践
2. 小中学校連携実践研究
3. 教育課題研究
4. 情報教育 (コンピュータ活用)
5. 学力向上フロンティア
6. 特別支援教育推進

7. 子ども読書活動推進

8. 小学校英会話活動研究

9. 二学期制実践研究

10. 子どもキラキラタイム実践 (遊び・運動・スポーツ活動)

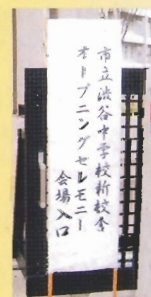
生涯にわたる自主的な学習活動への 支援を図ります

子どもたちが夏休みの自由研究をする際に、大人や先輩たちに相談できる「夏休み子どもまなびや」を実施します。ここでは、子どもたちが学ぶ喜びを実感するとともに、毎日の学校生活や家庭生活では出会うことのない人々と新たなふれあいを通して、人との接し方、さらには自らも地域の一員であることを自覚することの大切さも学びます。



地域教育力・家庭教育力の向上を図り、 地域社会の活性化をめざします

学校では様々な行事を企画、実施し地域との連携・協働を図るようにしています。新渡谷中学校では「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」をテーマに地域と結びついた取り組みを始めます。また、このテーマや取り組みは、すべての学校に共通したものであり、地域や家庭の支援をいただきながら、共に学べる学校をめざします。



学校評議員制度

学校評議員制度は、保護者や地域の方々の意見を幅広く校長が聞くためのものです。

これにより、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することができます。

学校評議員は、学校や地域の実情に応じて、できる限り幅広い分野からの校長推薦により、教育委員会が委嘱します。

本市においては、昨年度は各校4～6名で小学校では104名、中学校では53名、総数157名の方々が携わっていました。この制度の導入により、「特色ある学校づくりへの取り組み」「総合的な学習の時間などへの支援」「地域ぐるみでの子どもたちの育成」等について、地域と連携した教育活動が活発になってきています。

具体的には、次のような内容についてご意見をいただきました。

1. 地域行事への子どもの参加と安全指導のあり方について
2. 休業中の地域行事パトロールへの教職員の関わりについて
3. 幼稚園児を通して見た家庭教育と学校教育に期待するものについて
4. スポーツを通じた青少年の健全育成について
5. ふれあいまつりなどへの生徒のボランティア活動について
6. 痴漢・不審者対策について
7. コミコミスクール(学校参観)の実施について



特別支援教育スクールアシスタント派遣事業



普通学級において障害のある児童生徒に対してきめ細かな個別の教科指導や、その子に合ったペースで授業を受けることができるように、スクールアシスタントを派遣します。

スクールアシスタントは公募により採用された非常勤職員で、担任教師と協力してLD、AD/HD等の特に配慮を必要とする児童生徒に対し一人ひとりの教育ニーズに合ったきめ細かな教育的な支援を行います。

少年洋上体験事業を実施します。

市内の小学5・6年生と中学生を対象に、帆船を利用したセイルトレーニングを実施します。

雄大な大自然の中、一緒に乗ったみんなが「仲間」であり「パートナー」です。参加者が力を合わせて帆船を動かすという日常生活では得られない体験を通して、連帯感や達成感、リーダーシップなどを養うよい機会になります。

【16年度の予定】

対象：小学5・6年生及び中学生(2コース)

行程：2泊3日(又は3泊4日)



●小学校施設に冷房・暖房工事、教室非常ボタンの設置をしています。

夏でも航空機騒音に悩まされずに授業が行なえる静かな教育環境を実現するため、13年度から小学校に冷房設備設置工事を進めています。

工事内容は、老朽化した暖房設備の復旧工事と併せて冷房設備を新たに設置するものです。

15年度までに小学校9校の工事が完了し、年間3校計画で19年度までに全小学校の完了をめざしています。なお、中学校は、改築予定の光丘中学校を除く8校すべてに冷暖房設備が設置されています。

また、校内安全対策として低学年及び障害児学級に非常ボタンを設置しています。



児童館

市内22の児童館では、季節の行事やさまざまなイベントを開いて、たくさん子どもたちに利用されています。土曜日は、10時から開館しています。



青少年センター

水曜日、土曜日には、中学生以下の子どもたちを対象に「子ども広場」として体育室を開放しています。また、子どもたちのためのフリースペースとして「ふれあいルーム」を常設しています。



スポーツセンター

子どもたちの体力向上と健康増進のために、子どもや親子を対象とした各種教室を開催しています。スポーツからレクリエーションまで幅広く体験できます。



児童ホーム

平日の放課後、家庭に大人がいない子どものために「放課後児童ホーム」を開所しています。また、土曜日には、午前8時30分から午後6時まで全日開所し、子どもたちの活動場所を設けています。



図書館

子どもたちの読書や課題を持って調べる活動に応じるために、図書館の蔵書や相談窓口を充実します。

毎週火曜日～金曜日（休日は除く）は、午後6時まで開館しています。



学習センター

学校生活とは違った異年齢・同年齢の仲間とともに自然や社会とのふれあい・体験活動の機会を提供しています。



◆◆ ご相談に関することは ◆◆

☆子どもに関する悩み	青少年相談室	261-7830
☆いじめ110番	青少年相談室	260-5040
	フリーダイヤル	0120-874255
☆学区、通学路に関すること	学校教育課	260-5208
☆教育指導に関すること	指導室	260-5210
☆学校支援ボランティアに関すること	指導室	260-5210
☆教育史料、研修講座に関すること	教育研究所	260-5213
☆地域学習グループ・ボランティア	生涯学習センター	261-0491
☆児童館・児童ホームに関すること	青少年センター	260-5224
☆教育行政相談	総務課	260-5203

大和市教育委員会や市内小中学校のホームページは、大和市役所のホームページまたは教育研究所のホームページからご覧になれます。

（小中学校のホームページは、教育サーバ点検のため、5月末までご覧になれません。）

■大和市役所のホームページ <http://www.city.yamato.kanagawa.jp/>

■教育研究所のホームページ <http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kenkyu/index.htm>

お問い合わせ／大和市教育委員会指導室・教育研究所 電話（260-5210・5213）

社会教育課 電話（260-5222）